

Ⅲ. 移管住宅の市町による活用事例

大阪府では、地域のまちづくりや福祉施策と緊密に連携した住民サービスの提供を進めるため、府営住宅の市町への移管を進めています。

ここでは、市町が、移管を受けた旧府営住宅資産を活用して、魅力ある地域づくりなどに取り組んでいる事例を紹介します。

(1) 門真市における取組

① 門真市営門真千石西町住宅（子育て世帯定住促進防災公園等整備ゾーンの整備）

移管を受けた住宅の建替事業により生み出される用地を活用し、市が「子育て世帯定住促進防災公園等整備ゾーン」を整備（予定）。

○大阪府において建替事業中の住宅を市が事業継承し、最終的に生み出される活用地について、市が子育て世帯定住促進の受け皿となるゾーンの形成をめざし、住宅建替とあわせてグラウンドや防災公園を整備（予定）。



住戸概要

・所在地：大阪府門真市千石西町

事業概要

・門真市北島地域は、第二京阪沿道に位置するなど、ポテンシャルの高い地域であり、市南部の生活を支える拠点として、市が令和5年9月に策定した「門真市南東地域まちづくり基本構想」に基づき、「にぎわい・交流拠点形成ゾーン」「新たな産業ものづくり企業誘導ゾーン」「子育て世帯定住促進防災公園等整備ゾーン」という3つのゾーン分けを行い、門真市北島西・北地区に門真住宅活用地を含め一体的なまちづくりを進めている



② 門真市宮門真住宅（大学の学習・研究拠点）

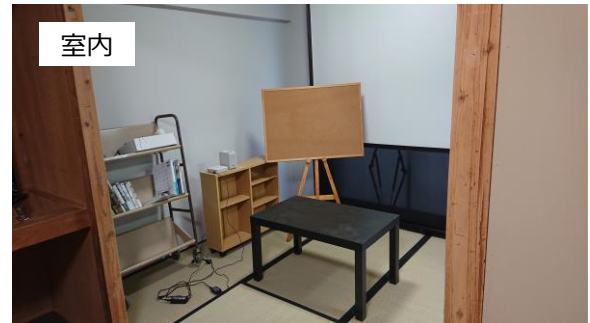
平成31年4月1日に大阪府より移管を受けた住宅の空室を、市と包括連携協定を締結している大学と連携し、団地内コミュニティ活性化のために活用。

住戸概要

- ・所在地：大阪府門真市千石西町
- ・使用者：学校法人大阪国際学園（大阪国際大学）
- ・使用期間：令和1年12月～令和7年3月
- ・使用住戸：2戸（2K：40.04㎡）

事業概要

- ・名称：門真団地みらいづくり研究所
- ・授業演習やゼミ等の活動を通じて、学生が団地に関わり、住民へのヒアリングによる団地内の課題調査や、住民との交流を図るためのイベントの企画などを実施



（2） 大東市における取組

① 大東市営大東深野住宅（市内中小企業向けの社宅）

平成30年4月1日に大阪府より移管を受けた住宅の空室を、市内中小企業向けの社宅として活用。市内中小企業の人材確保及び定着を促進。

住戸概要

- ・所在地：大東市深野3丁目
- ・使用者：市内中小企業の従業員
- ・使用期間：令和2年11月～
- ・使用住戸：1戸（1LDK：51.25㎡）

事業概要

- ・市内中小企業の従業員向けの社宅として活用
- ・低廉な家賃での入居が可能であることから、市内企業の福利厚生面への支援を行い人材確保及び定着を促進することを目的とする

＜入居者の要件＞

- ・公募で選ばれた市内中小企業の従業員であること
- ・団地内自治会活動に積極的に参加すること

